

無石綿

# IDモルタルコン

断熱・結露防止材  
(再乳化形粉末樹脂混入タイプ)

従来の有機質系断熱材・無機繊維系断熱材・発泡モルタル等に替わる全く新しい無機質系断熱材です。外部に面した戸境壁の断熱および結露防止材として有効な機能を有し、従来にない断熱・結露防止工法を品質管理が容易な一材化学品で可能にしました。

## 特長

- 超軽量微小中空体を使用しており、高い断熱性・結露防止性を発揮します。
- 弾性係数(曲げヤング係数)が普通モルタルの1/100と極めて小さいため、耐ひび割れ性に優れています。
- 一材型のため、水練りだけで使用でき、品質管理が容易です。

## 標準仕様

荷姿	適用部位	適用下地	適用仕上げ*1	標準調合	塗厚	標準施工面積
5.8kg/箱 (粉体2.9kg×2)	内壁、 天井、 サッシまわり	コンクリート、 モルタル、 PC板、 ALCパネル、 有機質断熱板、 折板屋根 (デッキプレート)	クロス、 水性塗料、 エマルション 系仕上塗材、 内装セラミック タイル	粉体 2.9kg 清水 約3.7ℓ	7~10mm	約2.8m <sup>2</sup> /箱 (10mm厚)

注)\*1：仕上材の種類に応じて適切に選択した下地調整塗材(JIS A 6916表示認定品またはJIS A 6916の物性を有する製品)を必ず施工してください。

上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。  
※各生産工場により、標準調合(加水量)が若干変わることがありますので、製品の包装袋の記載値で調合してください。

練り混ぜ時間が短い場合、強度低下の要因になりますので、練り混ぜ時間は3分を確保してください。  
水振りをしたのこて押えは、モルタルの表面強度を低下させる要因となりますので、NSハイフレックス HF-1000の3~4倍液を散布してください。

## 性能

試験項目	試験結果	試験方法
単位容積質量(kg/ℓ)	0.41	JIS A 1171
気乾密度(kg/ℓ)	0.27	-
曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> )	0.55	JIS A 6916
圧縮強さ(N/mm <sup>2</sup> )	0.69	
接着強さ(N/mm <sup>2</sup> )	0.26	JIS A 1171
吸水量(g)	66.3	
曲げヤング係数(N/mm <sup>2</sup> )	125	-
熱伝導率(W/mK)	0.054*2	-
熱貫流抵抗(m <sup>2</sup> K/W)	0.19(10mm厚)*2	-

注)\*2：(一財)ベターリビングでの試験結果になります。

日本化成(株)技術開発本部

※上記試験結果は、JIS等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

# 施工法

## 下地の清掃

下地のぜい弱層・レイタンス・油分・汚れ等をワイヤブラシ・サンダー掛け等で除去し、水洗い清掃または高圧洗浄をおこなってください。  
\*浮き・はく落の原因となりますので、下地の清掃は入念におこなってください。

## 下地処理 (吸水調整材塗布)

乾燥後、NSハイフレックスHF-1000の5倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布してください。  
\*吸水の激しい下地の場合、ドライアウトの原因となりますので、希釈倍率を厳守してむらなく丁寧に塗布してください。

## 下地調整

必要に応じて、NSポリマーミックス#20または#30等を塗り付け、下地を平坦にしてください。  
塗り付け後3日以上養生してから、次工程の作業をおこなってください。  
\*塗厚は下地の不陸の程度や必要な断熱性能によって決定してください。  
\*下地精度によっては、本工程を省略することも可能です。

## 練混ぜ

IDモルタルワン2.9kgに対し、水約3.7ℓを加え、ハンドミキサーでダマにならないように十分に練り混ぜてください。  
\*練混ぜ後、しばらくすると「締まってくる」ことがありますので、練返してご使用ください。その際、水を加えての練返しはおこなわないでください。  
\*強度低下の原因となりますので、練混ぜ後の材料は夏季40分以内、冬季60分以内に使い切り、練足し、水を加えての練返しは避けてください。

## 塗付け

こて圧をかけて下地に擦り込むように塗り付け後、所定の厚さになるよう塗り付けてください。しまり具合を見て定木ずりをおこない、金ごてで仕上げてください。  
\*浮きや割れの原因となりますので、必ず下擦りをおこなってから、所定の厚さまで塗り付けてください。1回の塗厚は、7~10mm以内とし、ひび割れの原因となるので一度に10mmを超えて塗り付けしないでください。  
\*塗り継ぐ場合は、翌日以降に所定の厚さになるよう塗り付け、金ごてで仕上げてください。  
\*気泡(ふくれ)発生防止のため、しごき塗りをおこない下地からの気泡をあらかじめ放出してください。気泡が発生した際は、IDモルタルワンのしまり具合を見計らって、空気を押し出すように押さえ込む等の措置を講じてください。  
\*施工終了後24時間(冬季は48時間)は、直射日光、急激な乾燥等を避けてください。モルタルに比べ、乾燥が遅いためそれ以降は、通気をよくし乾燥を促してください。  
\*仕上材の浮きやはがれの原因となりますので、塗り付け後次工程までの養生は、夏季7日以上、冬季14日以上おこなってください。

## 表面調整

NSポリマーミックス#5・10または所定量のHF-1000を混入したNSゼロヨン#10等を1mm程度塗り付け、表面を平滑にし、表面強度を確保してください。  
\*表面強度が弱い場合、直接の仕上げ施工は避けてください。必ず、表面調整をおこなってください。  
\*モルタルに比べて強度が小さいため、タイル仕上げをおこなう場合には、寸法100角以下の内装タイルの接着剤張りとしてください。  
\*下地の乾燥が激しい場合にはドライアウトの原因となりますので、吸水調整としてNSハイフレックスHF-1000の5倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布してください。  
\*仕上材の種類に応じて適切に選択した下地調整塗材(JIS A 6916表示認定品またはJIS A 6916の物性を有する製品)を必ず施工してください。

## 養生

通風や直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖をおこなってください。  
\*初期の雨掛り等は、強度不足・白華の原因となりますので、シート掛け等の養生をおこなってください。白華した場合には水洗い等により除去してから、次工程の作業をおこなってください。  
\*仕上材の浮きやはがれ・はく落の原因となりますので、塗り付け後仕上げまでの養生は、夏季7日以上、冬季14日以上おこなってください。

- 気温が3℃以下になる場合には、施工を避けてください。
- 本品は既調合品です。指定材料以外の他の材料の混入は避けてください。
- 練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。
- 使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。
- 製品は製造年月日を確認し、3ヶ月以内を目安に使用してください。

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0806065
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	<a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a>



### 使用上の注意

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。



製品問い合わせダイヤル ☎ 0120-974237

製品の概要・施工に関してはこちらのダイヤルまでお問合せください。

ホームページ <http://www.nihonkasei.co.jp/> 日本化成の最新情報もご覧ください。